



トステム株式会社

リビング建材 ウッディーライン 玄関収納 〈ウォールキャビネット〉



MAL688D

取付け説明書

●この説明書は必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

- キャビネットが落下してけがをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の棧木を設置してください。
 - ・棧木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
 - ・棧木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。(厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。)
 - ・必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×60を指定の本数使用してください。
 - ・必ず棧木又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。
 - ・組立ての際は、接合部・背板溝に付属の接着剤を充てんしてください。充てんされていないと接合部が外れて、キャビネットの落下・地板のたわみの原因となります。又、組立て後は接着剤が硬化するまで(半日以上)養生してください。
 - ・フロート受け部材を使用しない場合は、必ず背板芯材に接着剤(現場手配)を塗布してください。

▲注意

- 扉の取付けの際は、扉の丁番カップをキャビネットの丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。

■取付け上へのお願い

- 壁面(躯体)に固定する際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、扉の開閉に支障がでるおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが損傷するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。
- 発熱灯付近には取付けしないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。

■部材部品一覧表

	部材・部品名	数 量			
		445W	740W (890W)	1185W(1335W)	
部 材	①側板	2	2	2	
	②中仕切り	-	-	1	
	③天板・地板	2	2	2	
	④背板	1	1	2	
	⑤棚板/W413	1	-	1	
	棚板/W708	-	1	1	
	棚板/W858	-	(1)	(1)	
	背板芯材	2	2	4	
キャ ビ ネ ット 梱 包 部 品	棚ダボ		4	4	8
	キャビネット連結ねじφ3.5×27(黒)		8	8	13
	躯体取付けねじφ3.8×60		4	4	8
	接着剤		1	1	1
	丁番座		2	4	6
	丁番カップ		2	4	6

		部材・部品名		数量		
				445W	740W(890W)	1185W(1335W)
扉梱包 (2枚入り)	部材	扉/左吊り元	2枚入り/1梱包	-	1	1
	部材	扉/右吊り元		-	1	1
扉梱包 (1枚入り)	部材	扉/左右兼用	1枚入り/1梱包	1	-	1

		部材・部品名		数量	
				445(740・890)	
フロート 受け部材	部材	フロート受け材		1	
	部品	フロート受け材取付けねじ (トラスタッピンねじφ4×50)		2(3)	
		フロート金具		2	
		フロート金具取付けねじ (トラスタッピンねじφ4×16)		4	
		L字アングル		1	
		L字アングル取付けねじ(キャビネット側) (皿木ねじφ3.1×16)		2	
		L字アングル取付けねじ(躯体側) (皿木ねじφ3.8×45)		2	

		部材・部品名		数量	
				445(740・890)	
把手 セット	部品	把手		1	
	部品	把手取付けねじ (トラス小ねじM4×25)		2	

■寸法図

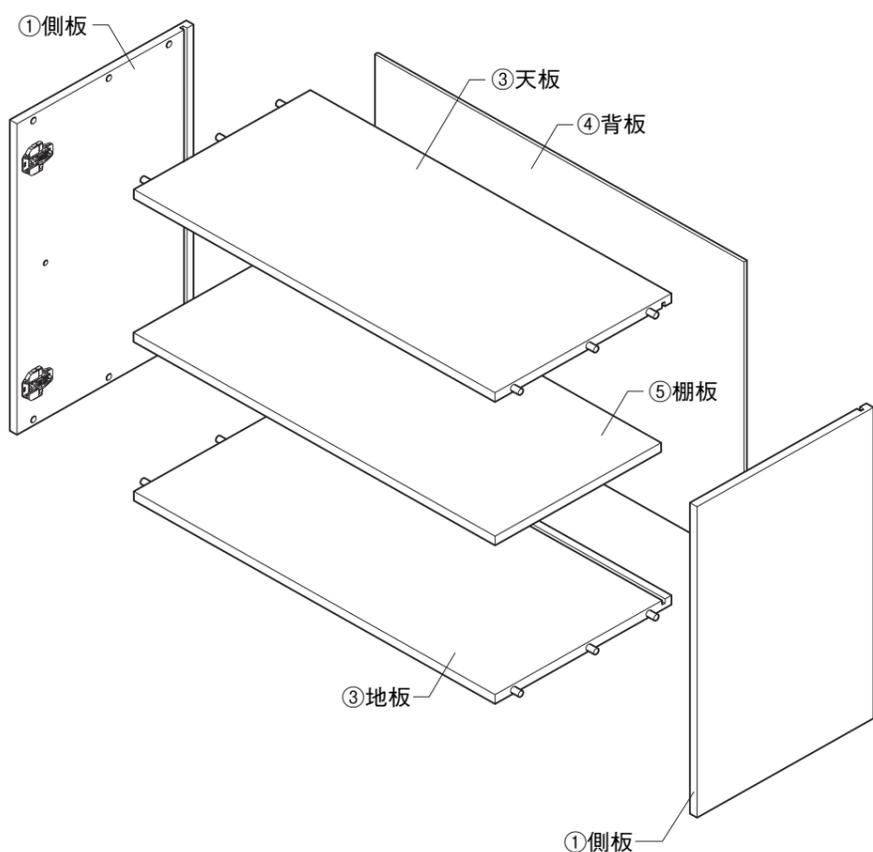


■扉の開閉方向

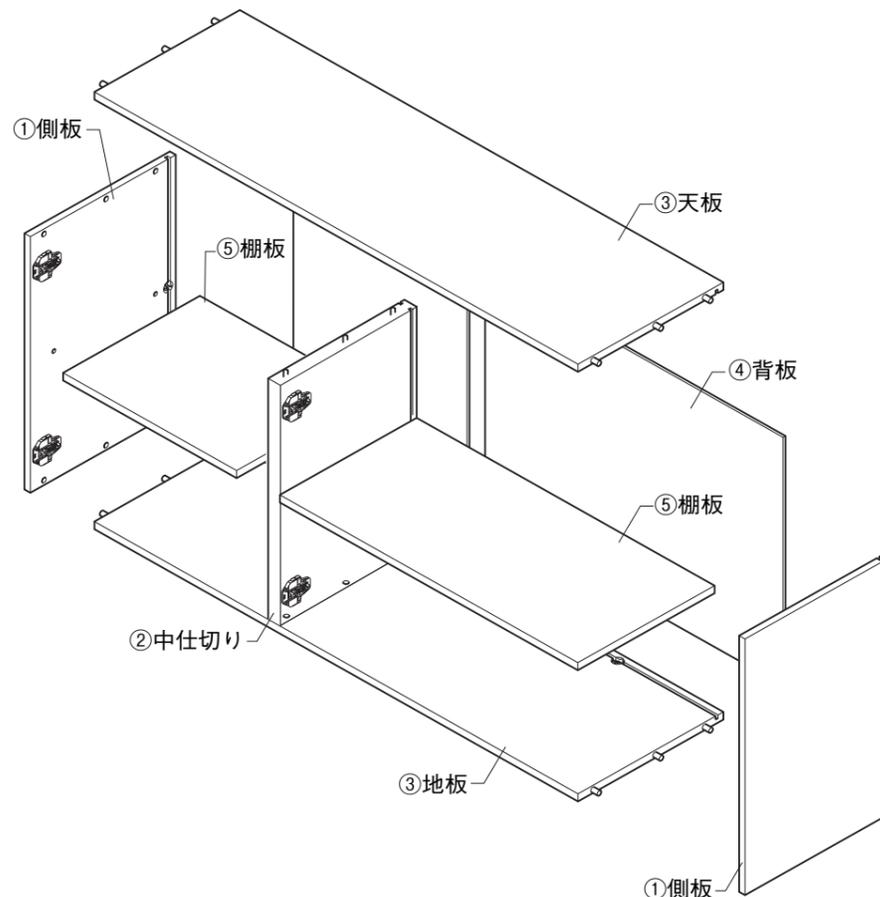
- 左右勝手は、組立て後に天地を逆にするにより選択できます。
- 扉の吊元は取付け時に変わります。
- 扉は両開き用扉(左右吊元/各1枚)と、左右兼用扉(把手穴のあいていない扉/1枚)があります。左右兼用扉の把手穴は貫通していませんが、裏面から上下2カ所に道穴が加工してあります。左右勝手を確認の上、把手穴を貫通して組立てます。詳細は、「扉の取付け順序」をご覧ください。

■各部名称

●445W・740W・890W



●1185W・1335W

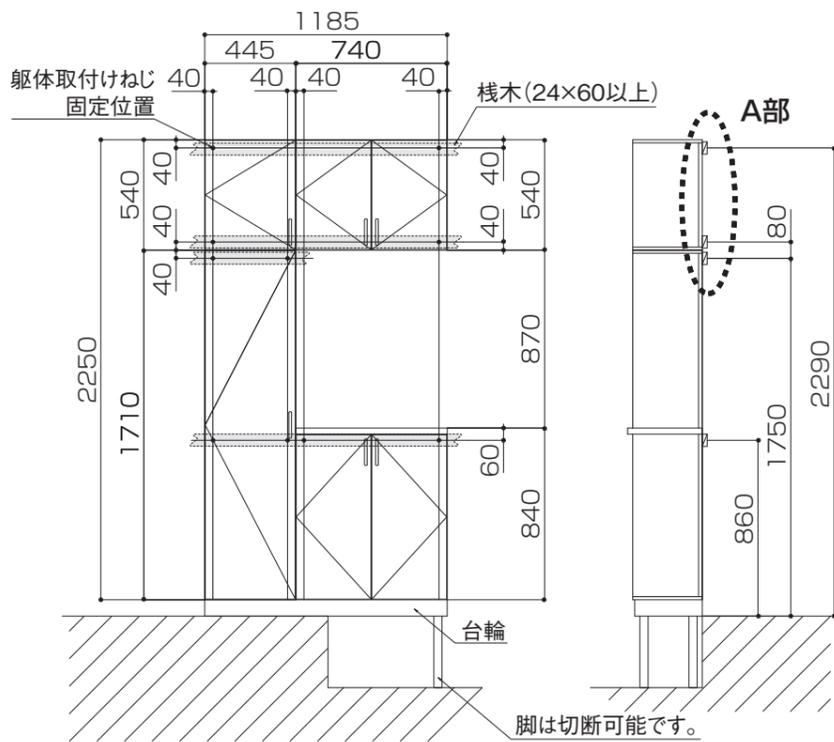


■据付け前の準備

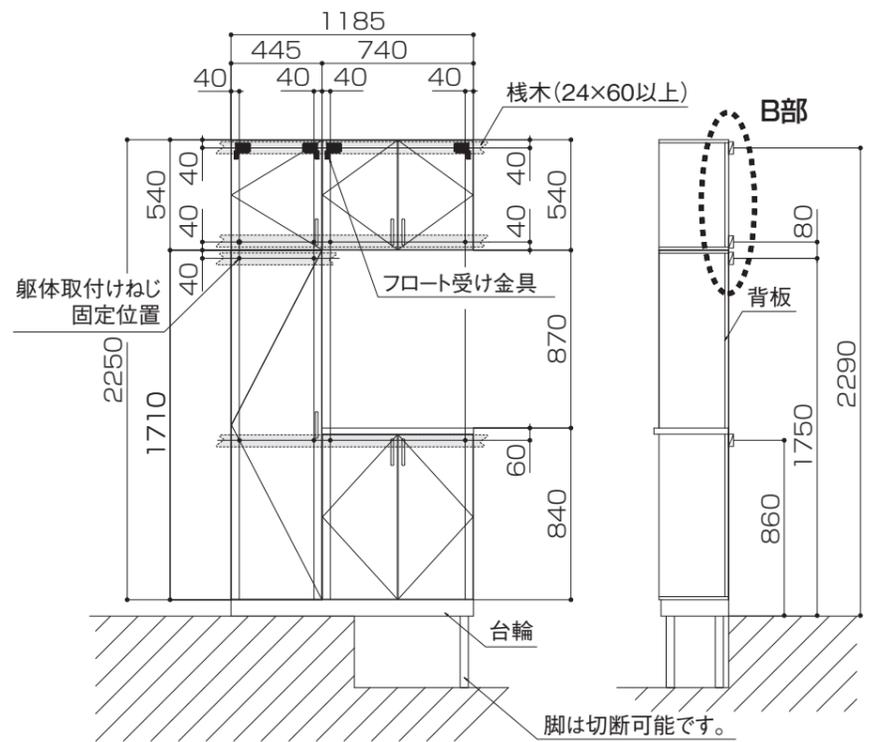
■ 棧木の設置位置確認

- 据付け場所と上がり框の位置及び収納セットの左右勝手を確認し、棧木を設置します。
 - 現場の納まりに合わせて、フロート受け部材の使用有無を選択してください。
- ※フロート受け部材の使用有無の選択ができるのは、ウォールキャビネットのみです。
ベース・トールキャビネットを浮かせる場合は、必ずフロート受け部材を使用してください。
詳細の取付け方法については、ベース・トールキャビネットに同梱の取説を参照ください。

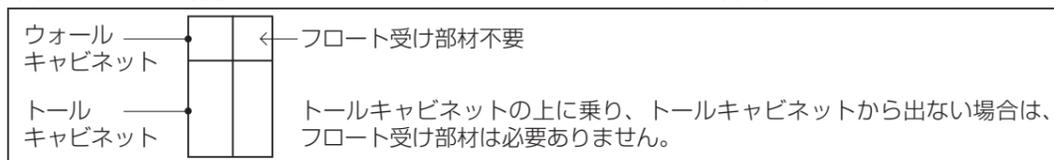
フロート受け部材 “無” の場合



フロート受け部材 “有” の場合

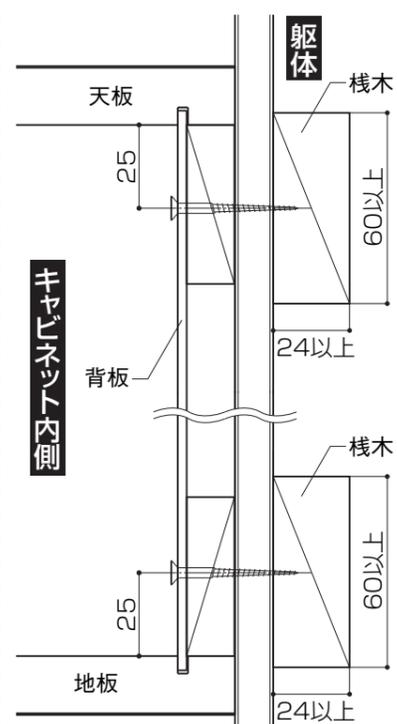


※上図は【台輪納まり】の場合を示します。
ただし、ウォールキャビネットの取付け方法は、【フロート納まり】の場合でも変更はありません。
下図のような場合、ウォールキャビネットにフロート受け部材は必要ありません。

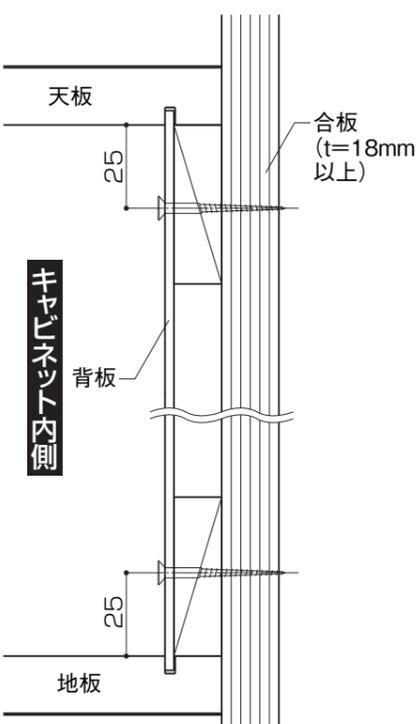


■A部詳細図

【 棧木の場合】

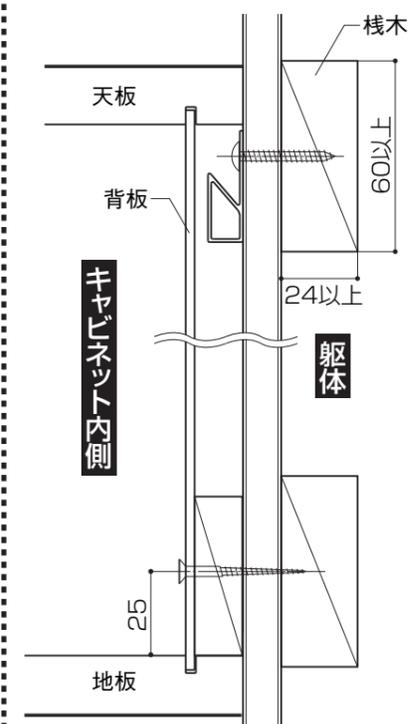


【 合板の場合】

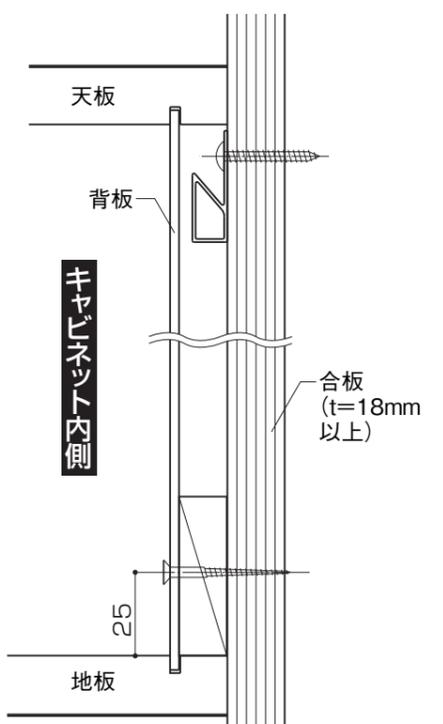


■B部詳細図

【 棧木の場合】



【 合板の場合】



▲ 警告

- 指定の位置に、厚さ 24mm × 60mm 以上の硬木の棧木を設置してください。
- 棧木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
- 棧木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。
- ベタ張りの場合は、厚さ 18mm 以上の合板を使用してください。
(厚さ 12mm の合板では吊下げ強度が足りません。)

■組立て順序

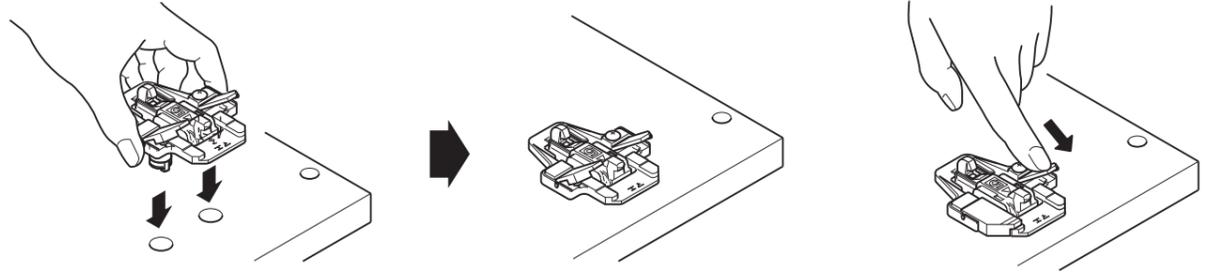
1 丁番座の取付け

1 丁番座の取付け

※左右勝手は、組立て後に天地を逆にするにより選択できます。
 ※部材はキャビネット内側がグレー、外側が木目です。

①丁番座を側板・中仕切りの加工穴に差込みます。

②黒レバーをおろして丁番座を固定します。



※445ウォールの側板には、片側しか丁番座取付け用の下穴はあいてません。
 キャビネットの天地を逆にして左右の吊元を決めてください。

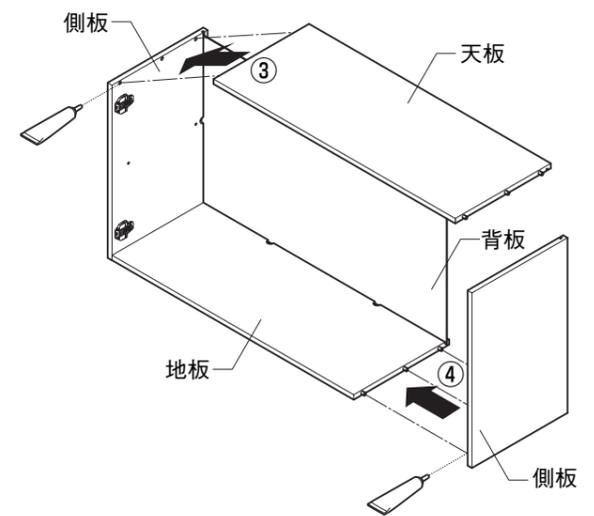
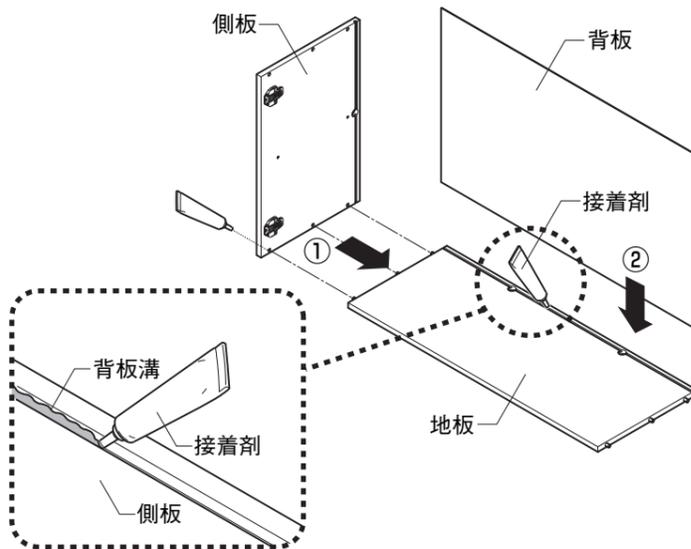
2 キャビネットの組立て

2 キャビネットの組立て

【445・740・890の場合】

- ①側板のダボ穴に接着剤を充てんし地板にはめ込みます。
- ②側板・地板の背板溝に接着剤を充てんし、背板をはめ込みます。

- ③側板のダボ穴、天板の背板溝に接着剤を充てんし、天板をはめ込みます。
- ④もう一方の側板のダボ穴・背板溝に接着剤を充てんし、側板をはめ込みます。



⚠ 警告

●接合部には、必ず接着剤を充てんしてください。キャビネットの強度が出ず、キャビネットの脱落の原因になります。

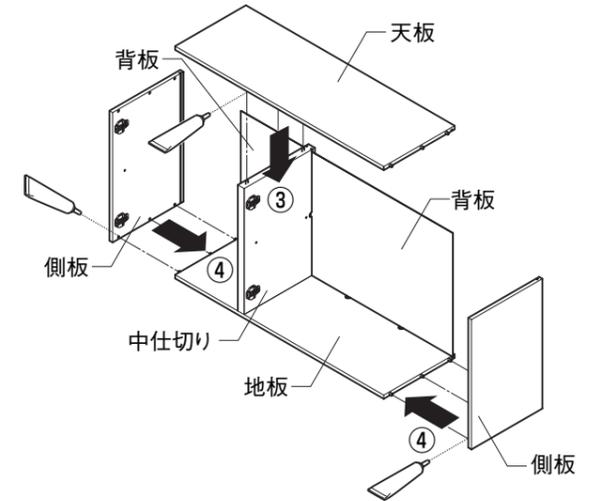
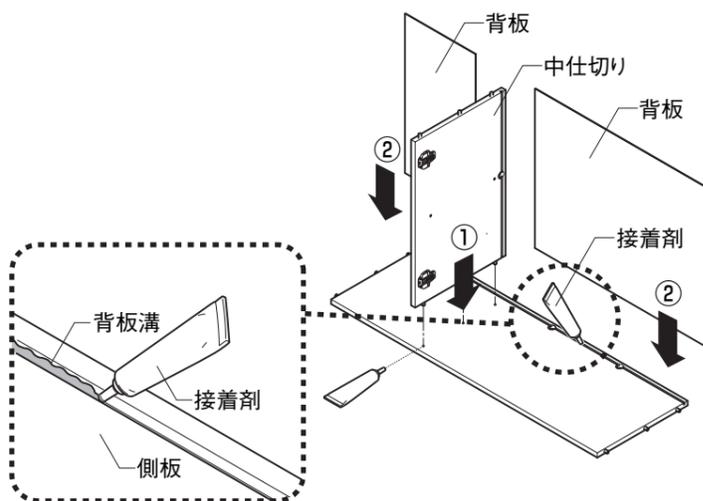
お願い

※背板が背板溝に入っていることを確認してください。

【1185・1335の場合】

- ①地板のダボ穴に接着剤を充てんし、中仕切りを観音開き側に丁番座を向けはめ込みます。
- ②地板・中仕切りの背板溝に接着剤を充てんし、背板をはめ込みます。

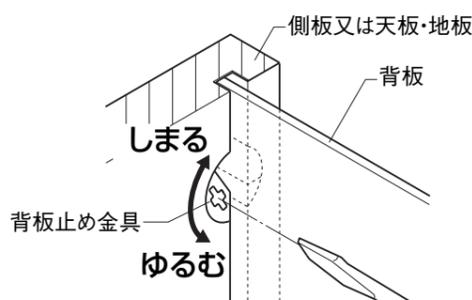
- ③天板のダボ穴・背板溝に接着剤を充てんし、天板をはめ込みます。
- ④側板のダボ穴・背板溝に接着剤を充てんし、側板をはめ込みます。



5 背板止め金具の固定

キャビネットの対角・垂直を確認した後、背板止め金具を締付けます。

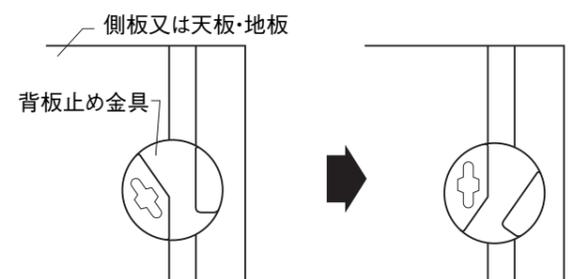
※マイナスドライバーで、右回りに締付けます。



【組立て前】

【組立て時】

※この状態で背板を組込んでください。

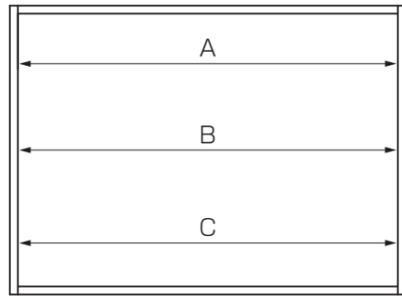


3 組立後の確認

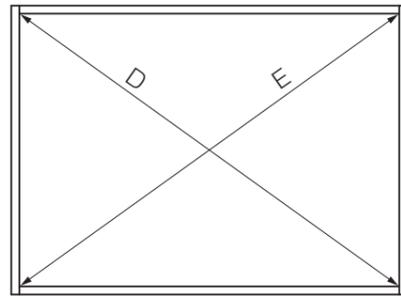
3 組立後の確認

- キャビネットの水平・対角・垂直方向の内法寸法が、それぞれ等しいことを確認してください。
- ※寸法の確認は接着剤硬化前に行い、寸法が異なる場合は「⑥背板止め金具の固定」をやり直して調整してください。

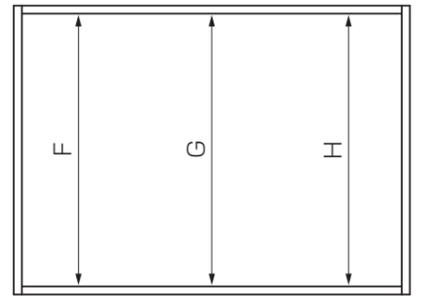
【水平方向】A=B=C



【対角方向】D=E



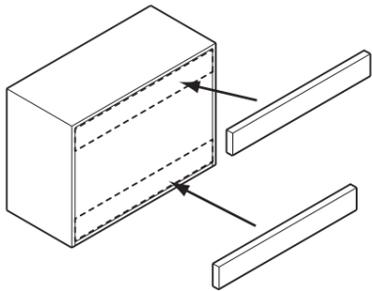
【垂直方向】F=G=H



■キャビネット取付け順序

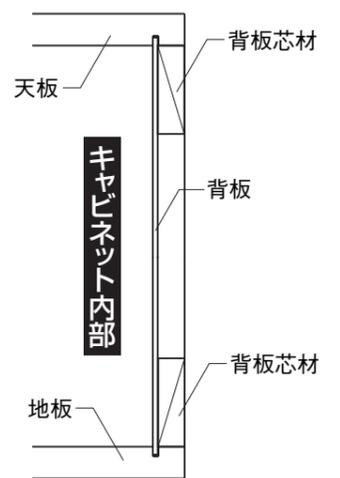
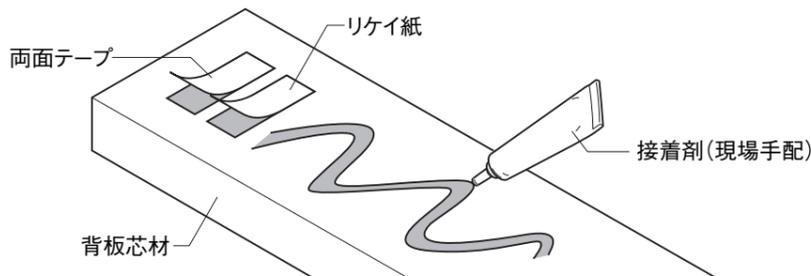
フロート受け部材“無”の場合

1 背板芯材の取付け



1 背板芯材の取付け

背板芯材に接着剤(現場手配)を塗布し、両面テープのリケイ紙をはがします。キャビネット上下部(天板下・地板上)に背板芯材を仮止めします。



⚠ 警告

- 必ず背板芯材に接着剤(現場手配)を塗布してください。

2 壁面への固定

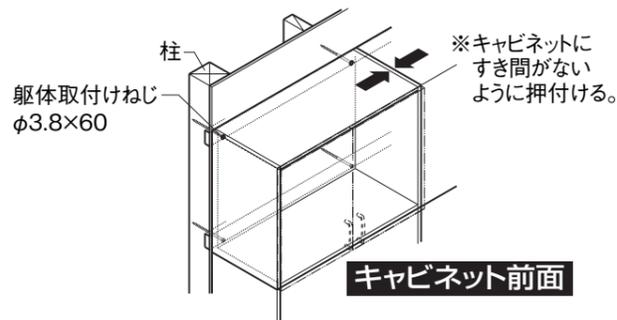
⚠ 警告

- 取付けねじは必ず棧木又は厚さ 18mm 以上の合板に固定してください。

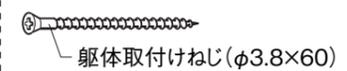
2 壁面への固定

※水準器・下げ振り等でキャビネットの水平・垂直を調整しながら固定してください。

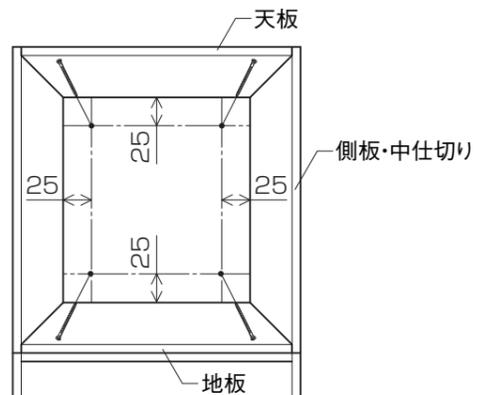
- ①キャビネットとキャビネットにすき間がないように押付けます。
- ②キャビネット前面・側面を揃え、躯体取付けねじ(φ3.8×60)で4ヶ所固定します。



■躯体取付けねじ



■壁面固定位置

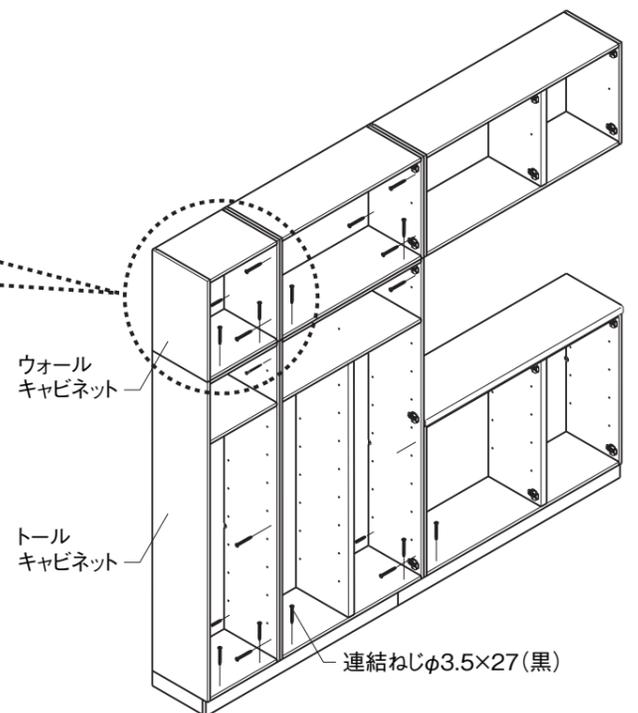
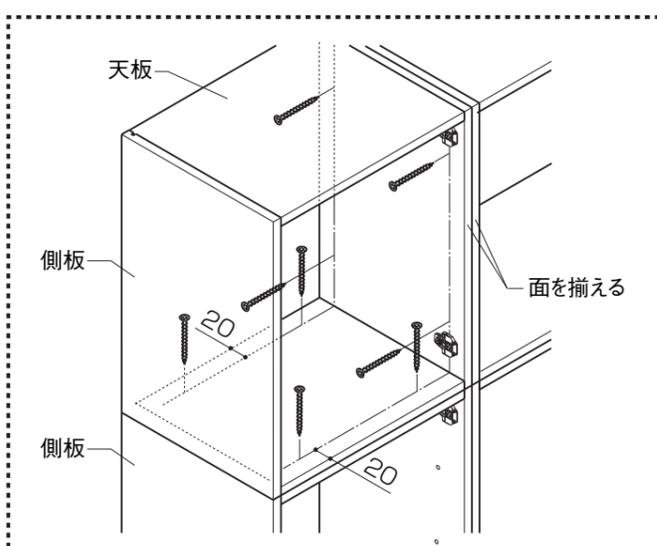
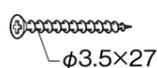


3 各キャビネットの連結

3 各キャビネットの連結

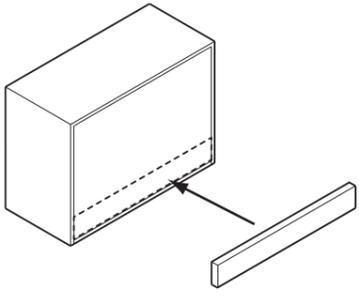
- キャビネットの側板前面を揃え、連結ねじ(φ3.5×27:黒)で連結します。

■連結ねじ(黒)



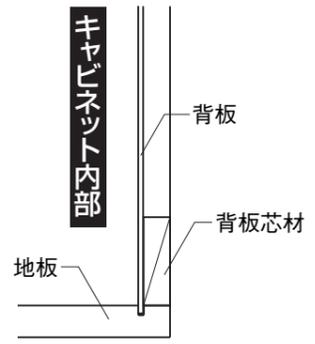
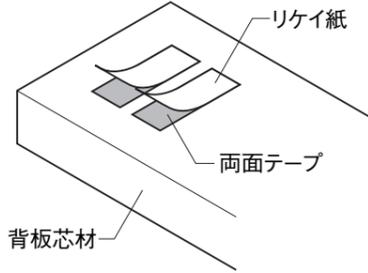
フロート受け部材“有”の場合

1 背板芯材の取付け



1 背板芯材の取付け

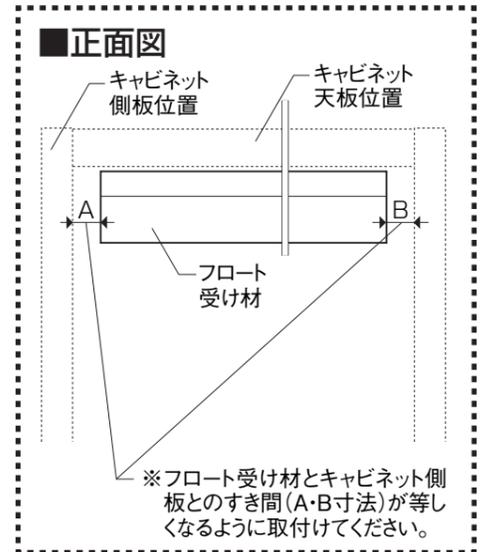
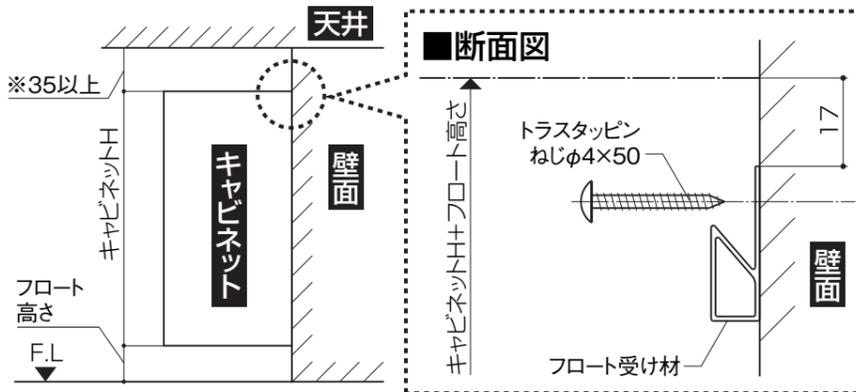
背板芯材に付いている両面テープのリケイ紙をはがします。
キャビネット下部（地板上）に背板芯材を仮止めします。



2 フロート受け材の設置

2 フロート受け材の設置

- 収納セットのプランを確認し、壁面（躯体）にフロート受け材を同梱のねじ（トラスタッピンねじφ4×50）で取付けます。
- ※ キャビネット上部と天井、造作材との間は35mm以上空けてください。キャビネットの建付けができなくなります。



3 キャビネットの吊込み

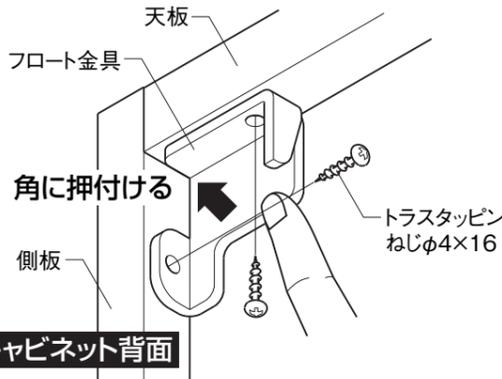
お願い

※ フロート金具と側板、又は中仕切、天板、背板にすき間がないように取付けてください。すき間があると、キャビネットと壁面とのすき間の原因となります。

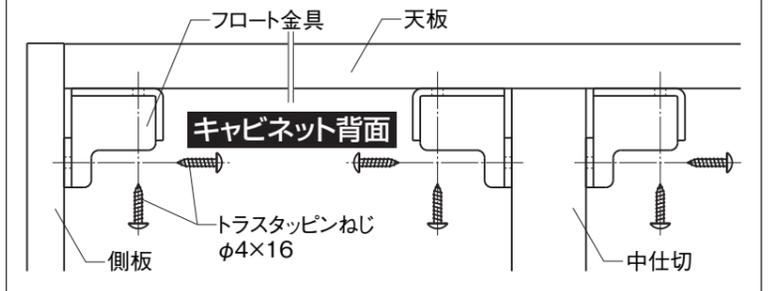
※ 必ず手回しドライバー又は、クラッチ付ドライバーで取付けてください。部材が割れる原因になります。

3 キャビネットの吊込み

- ① キャビネットにフロート金具を、同梱のねじ（トラスタッピンねじφ4×16）で取付けます。（キャビネット背面）



フロート金具取付け詳細

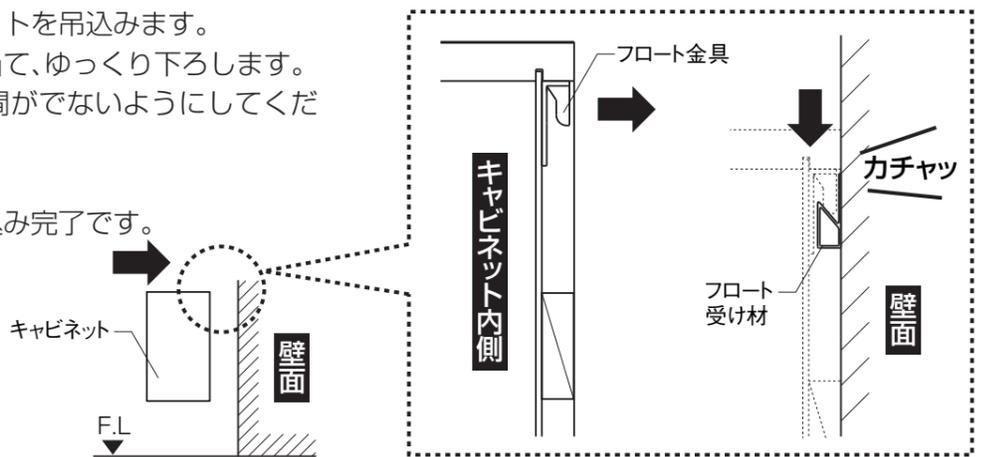


- ② フロート受け材にキャビネットを吊込みます。

キャビネットを水平に壁に当て、ゆっくり下ろします。
※ キャビネットと壁面にすき間がないようにしてください。

「カチャッ」と音がすれば吊込み完了です。

※ 吊込み後、キャビネットを左右にゆらし、フロート受け材とフロート金具にガタツキがないかを確認してください。

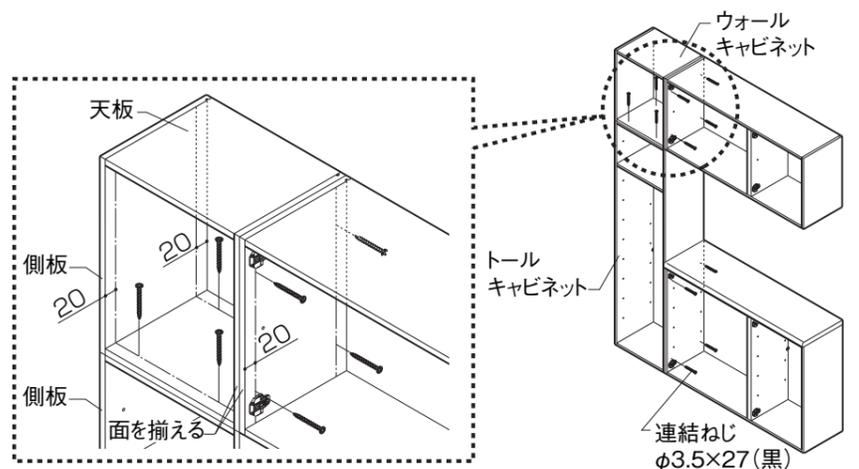
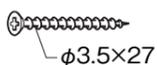


4 キャビネットの左右連結

4 キャビネットの左右連結

- キャビネットの側板前面を揃え、連結ねじ（φ3.5×27:黒）で連結します。

連結ねじ(黒)



5 壁面への固定

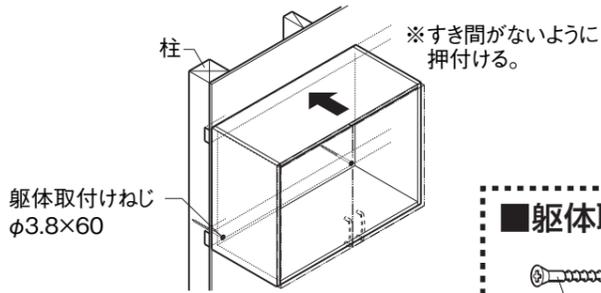
⚠ 警告

- 取付けねじは必ず**桧木**又は**厚さ 18mm 以上の合板**に固定してください。

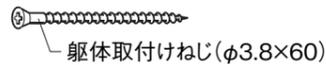
5 壁面への固定

※水準器・下げ振りでキャビネットの水平・垂直を調整しながら固定してください。

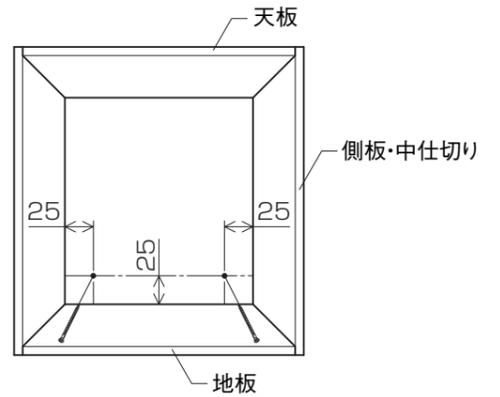
- ①キャビネットと壁面にすき間がないように押付けます。
- ②キャビネットを躯体取付けねじ(φ3.8×60)で固定します。



■ 躯体取付けねじ



■ 壁面固定位置



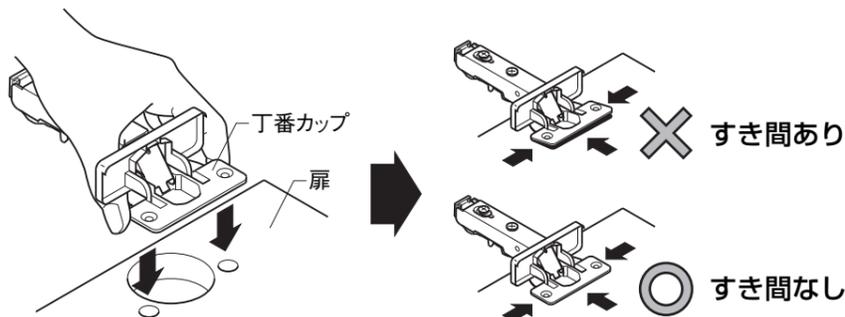
■ 扉の取付け順序

1 丁番カップ取付け

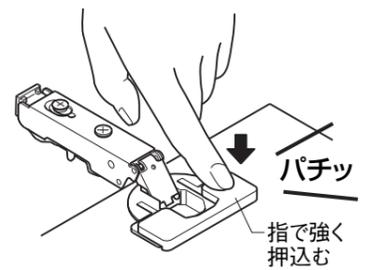
※天井幕板・開口調整材取付け時は、先に「オプション部品の取付け」を参照してください。

1 丁番カップ取付け

- ①丁番カップのカバーを90°に開いて、扉の丁番カップ取付け穴に丁番カップを差込んでください。
※ワンタッチ式ですので、ねじ止めは不要です。



- ②扉と丁番カップにすき間がないことを確認したら、「パチッ」というまでカバーを強く押込んでください。



2 把手の取付け

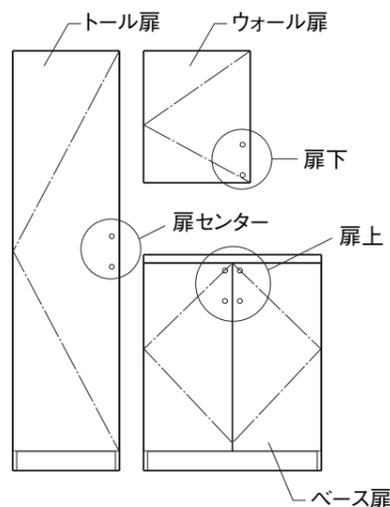
お願い

- ※当て木をしないで穴を開けると、シートがめくれる原因となります。

2 把手の取付け

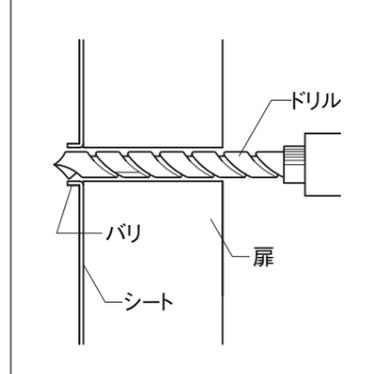
- ①左右勝手の確認を行います。
※445ウォール・445ベース扉は、現場で把手穴加工をすることで左右勝手を決めます。

■ 把手穴位置

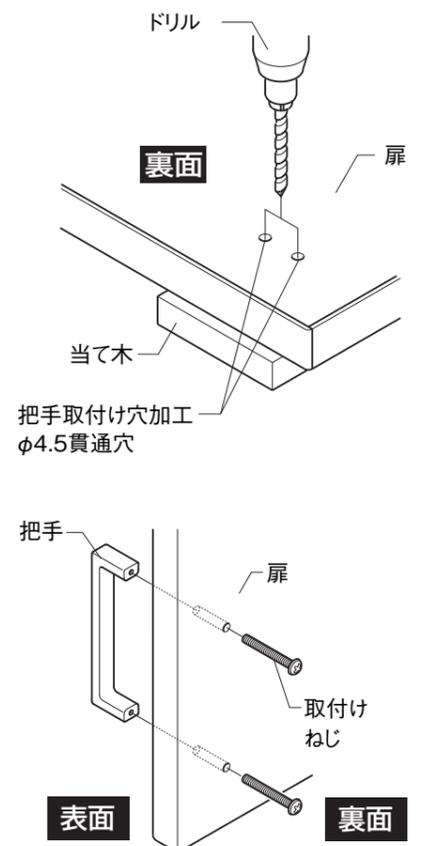


- ②把手取付け穴を開けます。(445ウォール・445ベース扉のみ)
※バリ防止のため、扉表側に必ず当て木をしてください。

■ バリ部拡大図



- ③把手を同梱のねじで取付けます。



3 扉の取付け

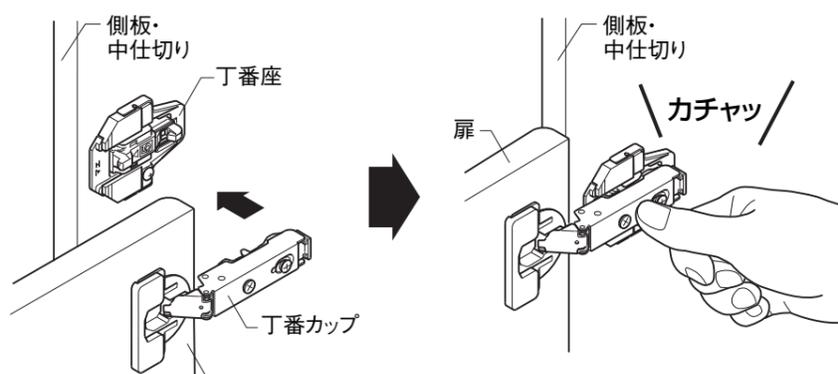
⚠ 注意

- 扉をキャビネットに取付ける際は、丁番カップが「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。

※扉の取付け後、3回程開閉を行い、丁番カップがきちっと取付いているか必ず確認してください。

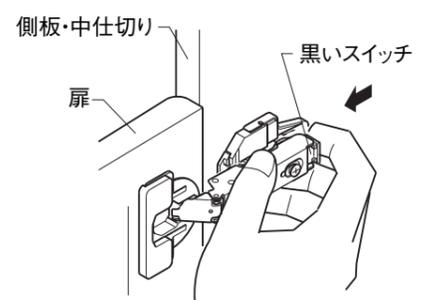
3 扉の取付け

- 丁番座に丁番カップをはめ込みます。

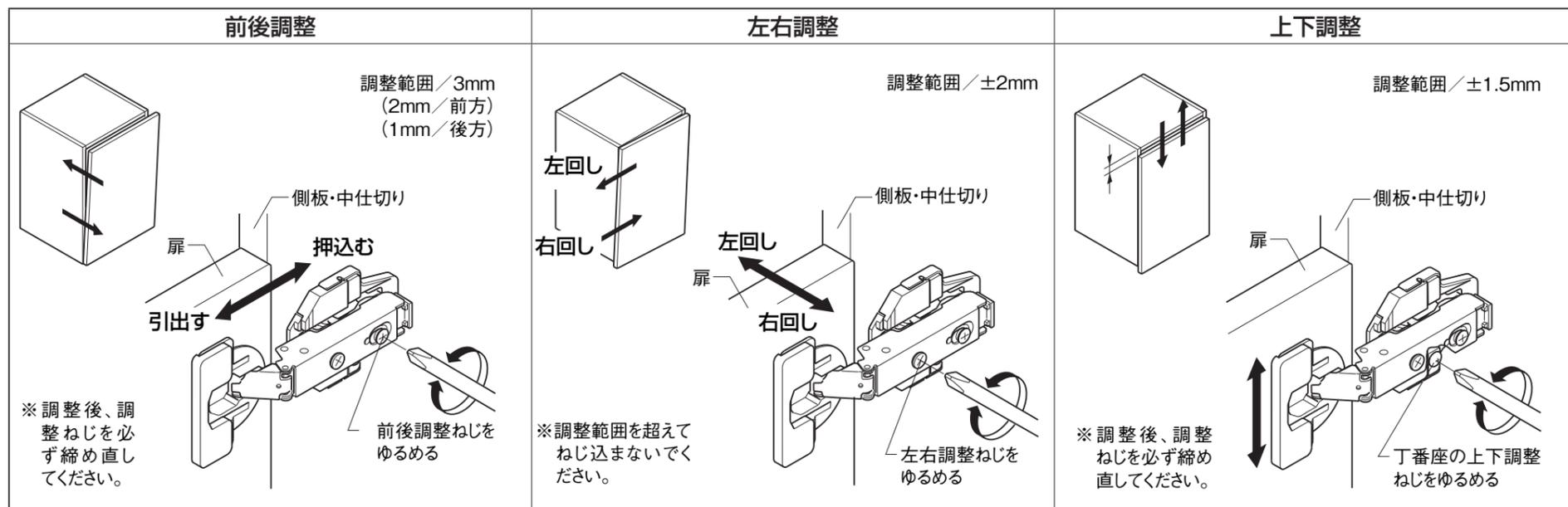


※ 扉の取外し方法

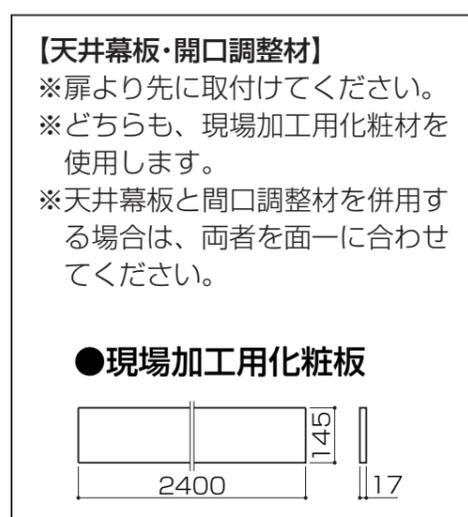
- 扉を外す際は、丁番カップの黒いスイッチを押してください。



4 扉の調整

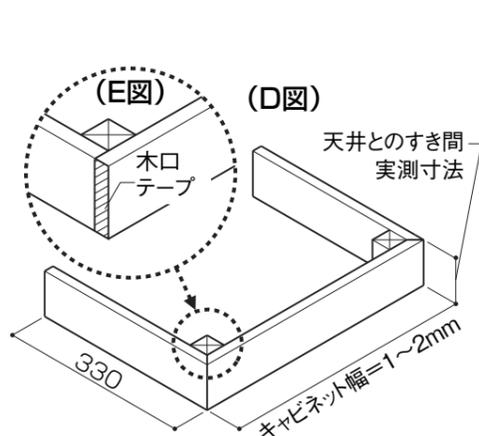


■オプション部品の取付け



■天井幕板

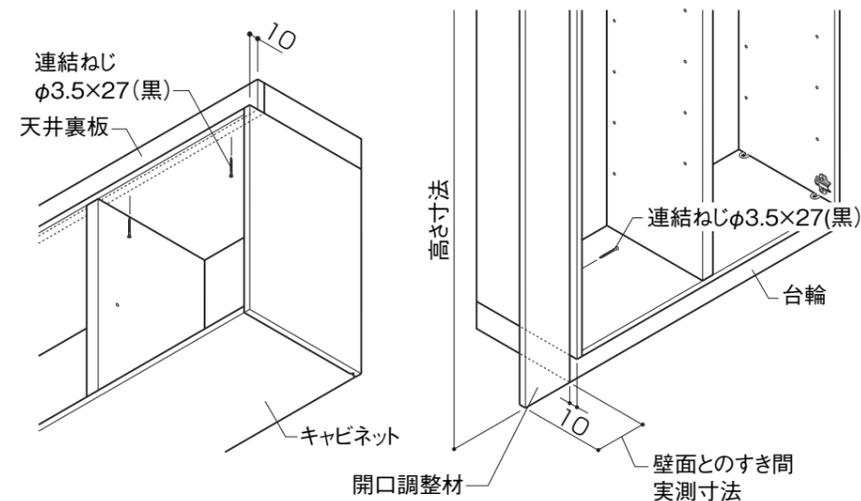
- ①実測寸法に基づいて化粧板を加工し、組立てます。(D図またはE図)
- ②台輪と面一に合わせて取付けます。



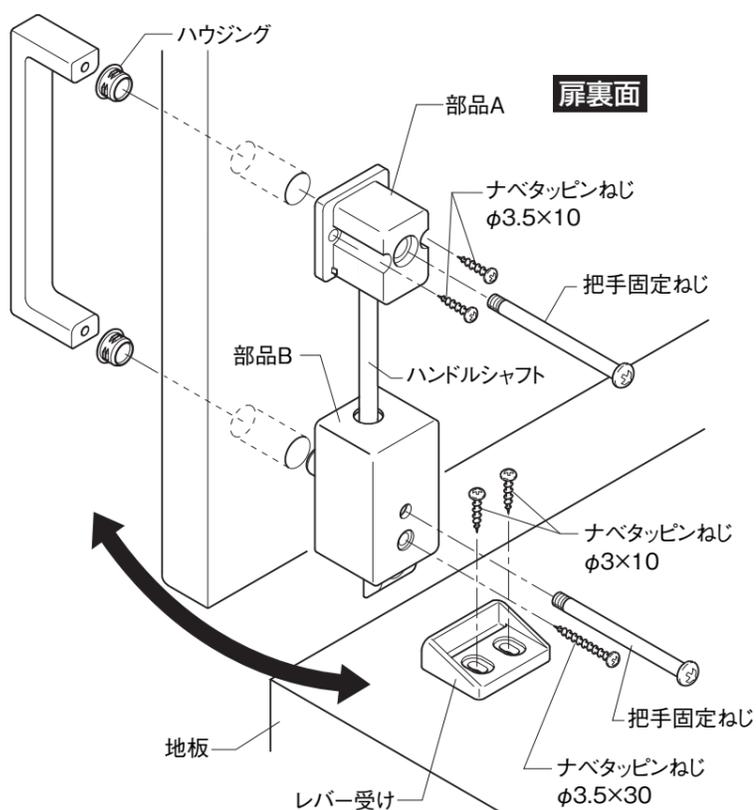
■開口調整材

- ③キャビネットの内側からねじ止めします。

- ①実測寸法に基づいて化粧板を加工します。



■耐震ロック

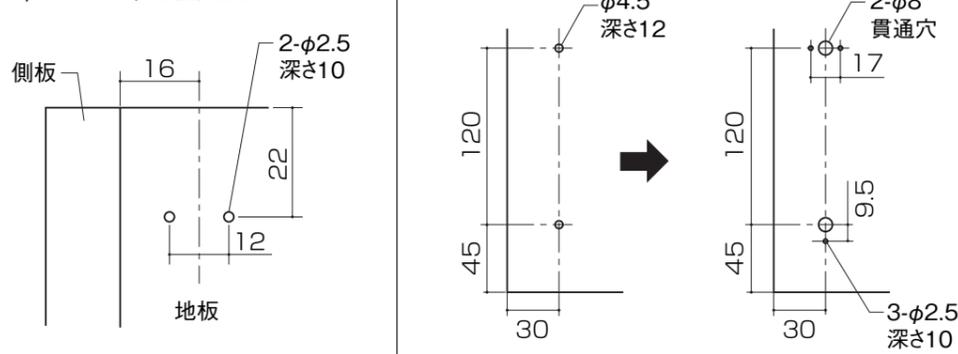


取付け方

- ①扉に加工済の把手取付け穴をφ8で貫通させます。
 ※把手取付穴加工の時には、必ず当て木を使用してください。

お願い
 ※当て木をしないで穴を開けるとシートがめくれる原因となります。

- ②地板にレバー受け取付用の下穴を開けレバー受けを取付けねじ2本(ナベタッピンねじφ3×10)で固定します。
- ③扉裏面に下図右のような取付下穴加工を行います。



- ④部品Bを左図の通り、取付けねじ(ナベタッピンねじφ3.5×30)を使用し仮止めします。同様に部品Aも取付けねじ(ナベタッピンねじφ3.5×10)で仮止めします。その際にハンドルシャフトを部品A・Bに挿入します。
- ⑤扉表面からハウジングを、木またはプラスチックハンマーなどで打込みます。次に扉裏面から把手固定ねじを「カチッ」と音がするまで挿入します。
- ⑥取付け後、部品Bラッチ部とレバー受けのかかり、そのクリアランスを調整し部品取付けねじをゆるみがないよう固定してください。